（令和４年第４回大崎市議会定例会）

行　政　報　告

令和４年１２月８日

本日，ここに令和４年第４回大崎市議会定例会が開催されるに当たり，当面の諸問題及び行政の一端を申し述べ，議員並びに市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

はじめに，７月１５日からの記録的な大雨の復旧状況等について申し上げます。

被災した道路や河川などの市単独の災害復旧事業につきましては，今年度内の完了を目指し進めてまいります。

また，国の補助を受けて実施する災害復旧事業につきましては，一部を除き災害査定が終了したことから，所定の手続を進め，早期の復旧に努めてまいります。

○災害義援金の配分について申し上げます。

１０月３１日までの間，災害義援金を募集しましたところ，総額５９３万３，６４９円の善意が集まりました。

その取扱いにつきましては，１１月１０日に大崎市災害義援金配分委員会を開催し，配分基

準などを決定しております

今後は，宮城県からの災害義援金と合わせ，被災された方々へできるだけ速やかにお届けできるよう対応してまいります。

○住まいに関する被災者支援について申し上げます。

被災された方の応急避難として実施している市営住宅の提供につきましては，これまで５世帯が利用され，１１月３０日現在で１世帯入居しております。

また，災害救助法による賃貸型応急住宅につきましては，３世帯が入居しております。

住宅の災害復旧につきましては，災害救助法による応急修理について工事の完成期限を３カ月延長し，令和５年１月１４日までとしました。

１１月３０日現在で５２件の申請があり，うち４２件が完成となっております。

また，市独自の住宅等災害復旧事業につきましては，１１月３０日現在で申請件数が住宅復旧と宅地復旧を合わせて２２件となっております。

今後も，被災者の生活再建への後押しとなる支援を行ってまいります。

次に，新型コロナウイルス感染症に関する取組について申し上げます。

全国的に，１０月下旬から感染者数が増加し，県内でも拡大傾向が続いております。

宮城県においては，１１月３０日から令和５年１月１６日までを期間とした県独自の「みやぎ医療ひっ迫危機宣言」を行っております。

宣言では，人との接触機会が増加する年末年始を控え，保健医療の負荷軽減と感染抑制のための要請が行われております。

本市といたしましても，動画メッセージにて改めて基本的な感染予防の取組をお願いしております。

本市におけるワクチン接種につきましては，１０月から１２歳以上の方を対象に，オミクロン株対応２価ワクチンの追加接種を実施しており，１１月３０日現在の接種率は２０．５パー

セントとなっております。

また，５歳以上の小児への追加接種も実施する中で，１２月からは生後６カ月から４歳までの乳幼児を対象とするワクチン接種も開始いたしました。

ワクチン接種につきまして積極的にご検討いただくよう，お願い申し上げます。

なお，子育て世帯応援給付金事業において，高校生以下の子ども一人当たり５千円を，追加給付いたしますので，インフルエンザの予防接種などにもご活用いただきたいと存じます。

コロナ禍における生活支援に関する取組について申し上げます。

１１月３０日における主な給付事業の取組状況につきまして，令和３年度・４年度の住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金及び燃料費支援金が１万３，３６２件，１４億３０１万円，低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金が１，８２６件，１億５，３３５万円，子育て世帯応援給付金では７，６１１件，

１億３，５５７万円を，それぞれ支給しております。

なお，電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金につきましては，１１月８日から申請の受付を開始し，１１月１８日から支給を開始しております。

福祉施設や医療機関に対する主な支援として，社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援金は１５９件，２，０５５万円を，保育施設給食継続支援金は４６件，６２６万４，０００円を１１月３０日現在で各事業者へ支給しております。

市民病院の対応につきましては，鳴子温泉，岩出山，鹿島台の各分院に，本院の後方支援病院として新型コロナウイルス感染症患者の受入病床を整備いたしました。これまでと同様に関係機関と連携を図り，患者受入体制を確保するとともに，ワクチン接種の一翼を担ってまいります。

○産業分野の支援策について申し上げます。

農林業分野につきましては，各金融機関と連携し，新型コロナウイルス感染症の長期化に加え，生産資材等の高騰により深刻な影響を受けている農業者に対し，実質無利子の融資制度による支援をしてまいります。

燃油価格高騰の影響が特に大きい施設園芸部門に関しては，燃油価格の変動による影響を受けにくいヒートポンプなどの加温設備や，省エネルギー化への転換に向けた被覆資材等の導入を引き続き，支援してまいります。

飼料価格の急激な高騰が続き，経営に大きな影響を受けている畜産部門においては，畜種別の支援金を交付し，経営の安定化を図ってまいります。

肥料資材等の高騰に対しましては，国が創設した肥料価格高騰対策事業において，化学肥料の低減等に取り組むＪＡなどの農業グループに対し，市独自の上乗せ支援を行ってまいります。

商工業分野につきましては，製造業を営む中小企業者等に支援金を交付いたします。また，

市内中小企業者が行う省エネルギー設備の導入に対しても補助金を交付することにより，事業継続や雇用維持の下支えを図ってまいります。

次に，明るい話題をご報告いたします。

１０月に開催されました第７７回国民体育大会において，古川学園高等学校女子バレーボール部が１２年ぶりに見事優勝の栄冠を勝ち取りました。来年の１月に行われる全日本高校選手権でも再び日本一を勝ち取れるよう大いに期待をしているところであります。

また，９月に和歌山県で開催された，第２５回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会において，大崎市三本木地域を拠点として活動する女子中学生チームＩＮＳＩＳＴＣＬＥＡＮが，見事準優勝を果たしました。

今後は，日本一を目指し健闘されることに大きな期待を寄せるものであります。

それでは，以下，令和４年第３回大崎市議会定例会以降の行政報告を申し述べます。

○市政功労表彰について申し上げます。

去る１１月３日の文化の日に大崎市民会館において，令和４年大崎市表彰式を挙行いたしました。

当日は，叙勲ならびに褒章の受章者２３名，礼遇者１名，市政功労者９１名，１２団体に対して顕彰と表彰を行いました。

受賞されました皆様には，改めて敬意と祝意を表するとともに，これからもご健勝にてご活躍され，市政の各般にわたり，なお一層のご指導，ご鞭撻を賜りますようお願いするものであります。

○デジタル・トランスフォーメーションの推進について申し上げます。

民間企業との連携により，オンライン申請とアウトソーシングを組み合わせた業務改善の実証実験を開始いたしました。

また，関係部署によるチームを編成し，災害情報収集等のデジタル化や市民に向けた情報発

信のあり方の検討を開始し，行政手続のオンライン化の勉強会も開催しております。

引き続き，ＤＸ推進アドバイザーからの助言をいただきながら取り組んでまいります。

○市役所本庁舎等の建設について申し上げます。

令和３年３月から着手しておりました大崎市役所本庁舎新築工事につきましては，１１月３０日に建物が完成いたしました。

現在，完成検査を行っており，検査合格後に引き渡しを受けることとなります。

今後は，新庁舎で使用する机や椅子，収納備品やＷｉ－Ｆｉ設備等の設置や，引越しなどの準備を進め，令和５年５月８日の開庁に向けた作業を進めてまいります。

○日本語学校推進事業について申し上げます。

本市における多文化共生施策による地域振興と，各産業分野における人材不足の解消及び定住の促進を図ることを目的として，公設日本語学校の設立を目指し，１０月１日付けで市民協

働推進部政策課内に日本語学校推進室を設置いたしました。

現在は，国内２校の公設日本語学校への視察を踏まえ，本市における設立に向けて，宮城県をはじめ関係機関と各種協議を進めているところであります。

○地域公共交通について申し上げます。

陸羽東線の維持・存続に向けた利活用促進策を協議するため，１０月２０日に第１回の大崎市陸羽東線再構築検討会議を開催いたしました。

また，沿線の古川，岩出山，鳴子温泉地域において，市民代表等の方々との地域懇談会も開催しております。

会議では，陸羽東線の魅力発信や維持・存続に向けた多くのご提案をいただきましたことから，引き続き，市民，関係団体の方々のご協力のもと，利活用促進策を年度内に取りまとめてまいります。

○第３次大崎市男女共同参画推進基本計画アク

ションプランの事業評価・進捗状況について申し上げます。

令和３年度に実施した主要事業２７事業につきましては，大崎市男女共同参画審議会に諮問したところ，コロナ禍での各種取組に対し，概ね良好であるとの評価をいただきました。

一方で，市民への情報発信のあり方や潜在的なニーズにも目を向けた行政運営について提言がなされたことから，より充実した事業が展開できるよう努めてまいります。

○放射性物質に汚染された農林業系廃棄物の処理について申し上げます。

焼却処理につきましては，１１月３０日時点で今年度処理予定の４２０トンのうち，２６９トンの処理が完了しております。

今後も，放射能の厳しい監視体制のもと，市民の安全・安心を最優先に取り組んでまいります。

○地球温暖化対策について申し上げます。

１１月１２日に開催したおおさき環境フェアにおいて，２０５０年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す，「ゼロカーボンシティの宣言」を行いました。

具体の削減目標や取組等につきましては，現在改定を進めている大崎市地球温暖化対策実行計画へ位置づけるとともに，市民や事業者の皆様との協働により，温室効果ガス削減に向けた取組を加速してまいります。

○（仮称）六角牧場風力発電事業計画について申し上げます。

当該事業計画は，本市の自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の基本理念に沿った，地域住民などの理解が得られている内容とはなっておりません。

また，重要施策と関連が深い渡り鳥の飛行ルートや観光地，国民保養温泉地としての価値への影響，風車建設に伴う森林伐採など，現行計画は容認できない内容となっていることから，１２月１日の定例記者会見において反対を表明

したところであります。

１２月６日には，宮城県知事へ反対の意向をお伝えし，県も現行計画に反対いただくよう，要望を行ったところであります。

○水稲の作柄とささ結の販売促進について申し上げます。

本年の水稲作柄につきましては，東北農政局によると，県北部で９９の平年並みとなっております。本年は，一等米比率が例年以上に高く，美味しい新米が市内外に出荷されております。

また，８年目を迎えるブランド米ささ結につきましては，１０月９日開催の新米まつりから本格的に販売され，「ささ結寿司キャンペーン」や，台東区の学校給食への提供，さらには地元飲食店と連携した「ささ結新米フェア」の開催など，消費拡大を図っております。

１１月２５日開催の第６回全国ササニシキ系「ささ王」決定戦２０２２につきましては，県内外から合計８６点が出品されました。

当日は，最終審査や記念講演，審査発表を行

い，ささ結を生産された本市の関孝浩さんが，第６代目のささ王に決定いたしました。

関さんは，第４代ささ王に続き，大会初の２度目の受賞となり，あわせてささ結の最高賞である大崎耕土賞も受賞されました。今後，東京銀座の百貨店での販売が決定しております。

○黒部市民訪問団の来訪について申し上げます。

令和３年１１月５日に大崎市誕生後初めての姉妹都市提携を行った富山県黒部市から，２８名の市民訪問団が１１月７日から９日までの日程で来訪されました。

訪問団は，鳴子ダムや鳴子峡などの見学に加え，７月１５日の大雨災害に関する講話の受講や現地視察も実施し，本市の魅力を感じていただくとともに，市民の皆様と交流を深めました。

今後も，民間交流をはじめとし，相互交流を展開できるよう取り組んでまいります。

○トランスイート四季島の運行について申し上げます。

クルーズトレイントランスイート四季島が，

４月２１日から１１月２４日まで，合計２３回，陸羽東線鳴子温泉駅に来訪しました。

期間中は，受け入れの実行委員会を中心として，鳴子温泉駅や陸羽東線沿線で，心を込めたおもてなしを実施するとともに，鳴子温泉ゆめぐり広場では湯けむりマルシェを開催し，国内外から訪れた四季島のお客様へ，本市の魅力を発信いたしました。

来年も引き続き，市全体でのおもてなしにより，誘客につなげてまいります。

○世界農業遺産について申し上げます。

本年は，「大崎耕土」が世界農業遺産に認定されて５周年に当たることから，これまでの取組を振り返り，未来につなげていくため，１１月１８日から１９日にかけて，認定５周年記念フォーラムを実施し，市民をはじめ，地域内外の多くの方々に「大崎耕土」を感じていただきました。

今後も，認知度の向上やブランド力の強化に努め，世界農業遺産の資源を守りながら活用し，

本市の農業システムが持続可能なものとなるよう取り組んでまいります。

○ＳＤＧｓ未来都市の取組について申し上げます。

普及啓発の取組として２回目の市民向けセミナーの開催や職員研修会を実施いたしました。

また，世界農業遺産認定のフォーラムや環境フェア，公民館講座，教育機関への出前講座などを通じて，ＳＤＧｓを身近に感じていただけるよう情報提供に努めております。

ＳＤＧｓと世界農業遺産大崎耕土を連動させた事業として，屋敷林いぐね周辺の水田において，生物多様性の効果を検証する取組を始めております。

今後も，ＳＤＧｓと世界農業遺産の推進に努めてまいります。

○都市計画に関する取組について申し上げます。

市民の皆様への景観計画の周知を行うため，９月２１日から１０月５日にかけて，各地域で

の住民説明会を開催し，１２月６日には景観講演会を開催いたしました。

今後は，各地域での良好な景観づくりにつなげてまいります。

○水害に強いまちづくり共同研究について申し上げます。

鹿島台地域をモデルとした水害に強いまちづくり共同研究につきましては，１０月２７日に３回目となる専門家会議を開催し，報告書を取りまとめました。

また，この共同研究の一貫として鹿島台志田谷地地域では，６月から１１月にかけて，住民とのワークショップも行っています。

今後は，本報告書の内容について，流域の住民や自治体へ丁寧に説明し，理解と連携を深めていくとともに，国，県に対し水害軽減対策の着実な実施を働きかけ，水害に強いまちづくりの実現を目指してまいります。

○公営住宅整備事業について申し上げます。

岩出山上川原住宅建替事業につきましては，取得した事業用地の造成工事や，建設する住宅の設計業務を行っており，令和７年度内の供用開始に向け，事業を進めてまいります。

○耐震改修促進事業について申し上げます。

木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業につきましては，予定件数に達したことから，今年度分の受付を終了いたしました。

また，危険ブロック塀等除却事業補助金につきましては，１１月３０日現在の受付件数が５６件となっております。

○学校教育環境整備について申し上げます。

令和５年４月開校予定の古川西小中学校の校舎・屋内運動場等につきましては，令和５年２月の完成に向け，順次整備を進めております。

建築工事，電気設備工事及び機械設備工事を合わせた進捗率は，１１月３０日現在で７０．０パーセントとなっており，概ね予定通り進んでおります。

また，スクールバス運行ルートや乗降場所を決定し，児童・生徒向け乗車マニュアルの作成も進めており，開校後の円滑な学校運営に向け準備を進めてまいります。

鳴子温泉地域につきましては，学校再編に関する保護者アンケートを実施し，さらに昨年度開催した合同検討委員会の内容等をお知らせするため，現在，地域住民を対象にした説明会を開催しております。

地域の皆様も含め理解を得られるよう，取り組んでまいります。

○生涯学習事業について申し上げます。

１０月２３日に地域交流センターを会場に「朗読劇ワークショップ発表会」を開催しました。

大崎市民が一から作る朗読劇として，本市を舞台にしたオリジナル作品を１５名の市民メンバーが演じました。

１１月２０日には，古川屋内運動場を会場にスポーツフィールドおおさき市民交流会を開催

いたしました。

昨年に続き，ニュー・スポーツ「クッブ」を実施したところ，幅広い年齢層からなる１２チームが参加し，地域間の交流も図られました。

引き続き，市民が芸術文化やスポーツに触れる機会を提供してまいります。

○地区公民館の地域運営について申し上げます。

地区公民館に指定管理者制度を導入してから今年度で１１年目となり，各地区公民館では，指定管理者の創意工夫による柔軟な取組と，個性ある生涯学習事業が展開されております。

来年度から，４期目を向える指定管理につきましては，先般開催されました指定管理者選定委員会において，これまでの管理・運営に取り組む姿勢や事業実績などが評価され，１８団体すべてが候補者に選定されたことから，指定管理者の指定についての議案を今議会へ提案いたします。

○水道事業について申し上げます。

今年度予定しております管路更新及び整備工事，並びに水道施設耐震補強工事につきましては，他の工事との調整中のものを除き，発注済みであり，引き続き水道施設の強靭化に取り組んでまいります。

○病院事業について申し上げます。

「手術支援ロボット」につきましては，令和５年１月の稼働開始に向け，職員の訓練などの準備を進めております。

日本医療機能評価機構の認定更新審査につきましては，本院における医療の質の向上を目的とし１１月に受審いたしました。令和５年３月には結果が通知される予定となっております。

分院におきましては鳴子温泉分院の旧病院の解体工事が終了し，令和５年１月から駐車場を拡張し供用開始いたします。また，１０月１日から岩出山分院の一般病床２２床を地域包括ケア病床に転換し，３分院全ての一般病床を地域包括ケア病床として運用することで，本院・分院・診療所の機能分化や連携が強化されました。

以上，主な事項について申し上げましたが，今定例会へ提案いたします補正予算等議案に関する説明は，別途申し上げることとし，行政報告といたします。